



令和 7 年 9 月 29 日

AMED「医学系研究支援プログラム（特色型）」に  
広島大学を代表とする「HK<sup>2</sup>-MIRAI※」が採択されました

2025 年 8 月 21 日、広島大学を代表、神戸大学・熊本大学を連携機関とする「広島・神戸・熊本 医療革新・研究共同推進イニシアティブ(HK<sup>2</sup>-MIRAI)」が、国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) の「医学系研究支援プログラム」(特色型) に、採択されました。

※ Hiroshima-Kobe-Kumamoto Medical Innovation and Research Alliance Initiative の略

「医学系研究支援プログラム」事業は、単独機関が実施する「総合型」(1 件 7.2 億円)と複数機関が連携して実施する「特色型」(1 件 13.8 億円)があり、広島大学は神戸大学・熊本大学と連携し、特色型として申請しました。全国 17 件の応募のうち採択は 6 件のみで、中・四国地域では広島大学が唯一の代表機関です。3 大学には今年度から 3 年間で総額 13.8 億円（研究費 10.8 億円、研究環境整備費 3 億円）が支援されます。

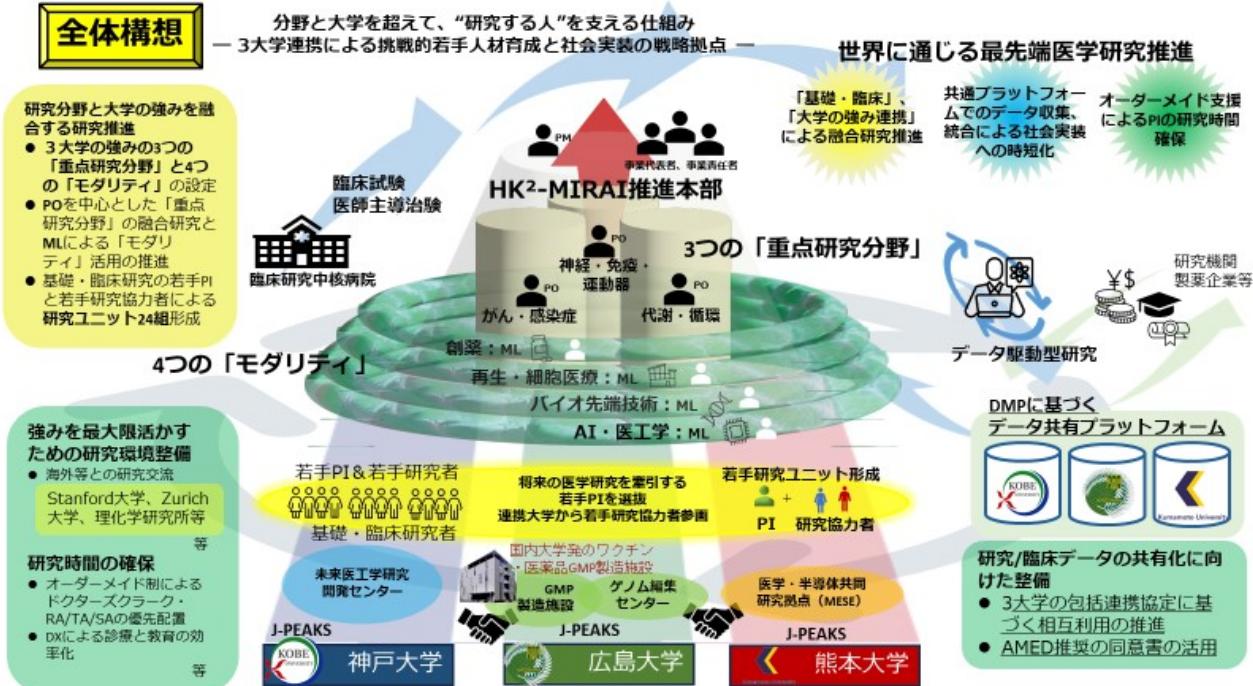
本事業は、大学病院や医学部における研究環境を強化し、「国家戦略上重要な研究課題」への取り組みを加速させることを目的としています。研究費だけでなく、研究基盤や人材育成、教育 DX など環境整備が支援対象となる点が大きな特徴です。

「国家戦略上重要な研究課題」への取り組みとして、3 大学の強みである「がん・感染症」「神経・免疫・運動器」「代謝・循環」を選定し、基礎から臨床までの多様な研究者が協働します。加えて、4 つのモダリティ（創薬、AI・医工学、再生・細胞医療、バイオ先端技術）を生かし、最先端の研究開発を推進します。

研究環境整備では、3 大学が連携し、診療・教育・研究の状況に応じて、研究者が必要な支援を選べるオーダーメイド型の仕組みを導入し、研究に専念するための環境整備を進めます。また、共通プラットフォームを活用したデータ収集・統合によって社会実装の迅速化を目指し、他機関のモデルとなる取り組みも展開します。

これらの取り組みにより、3 大学が連携して、世界トップレベルの研究成果を創出し、迅速な実用化につなげることにより、人々の健康・医療課題の解決に貢献していきます。

## 全体構想



国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) ホームページ  
[https://wwwAMED.go.jp/koubo/16/01/1601B\\_00076.html](https://wwwAMED.go.jp/koubo/16/01/1601B_00076.html)

### 【お問い合わせ先】

医療政策室医療政策部医療政策・医学系研究推進グループ 浅越(あさごえ)  
 TEL:082-257-1576  
 E-mail : [iryo-fgl@office.hiroshima-u.ac.jp](mailto:iryo-fgl@office.hiroshima-u.ac.jp)